



杉並区立杉森中学校
学校だより 第400号
平成31年3月15日
平成30年度 第11号

「釜石の奇跡」

校長 山内 清一

3月6日(水)は二十四節気の「啓蟄」です。地中で冬眠していた虫たちが姿を現すとされています。いよいよ本格的な春がそこまでやってきています。

2月8日(金)に2年生が立志式を行いました。一人一人の生徒が人生を振り返り、自分と向き合ったことを文章にしました。そして、各クラスの代表者6名が2年生全員の前で発表しました。人生の一つの区切りとして貴重な体験だったと思います。

さて、2011年3月11日に東日本大震災が発生して8年になります。今年もあの日を忘れないために全校朝礼で話をしました。「釜石の奇跡」についての話です。

地震発生後、岩手県釜石市の海に近い小・中学生の子ども達は、下校後、全員無事に避難することができました。なぜなら、群馬大学の片田敏孝先生から10年にわたって、「災害から命を守る避難3原則」を教えていただいていたからです。それは

1. 想定にとらわれるな

釜石市には、ハザードマップというものがあり、津波による浸水が予想される地域には、地図上に色が塗られている。しかし、自然なのだから、想定通り津波がくるとはかぎらない。もしかしたら、想定より非常に大きなものがくるかもしれない、ということを常に頭に入れておく。

2. 最善をつくせ

「どの状況下においても最善をつくす」ということ。津波の危険があるところであれば、少しでも早く、少しでも高いところに避難すること。自分で判断し、最善を尽くした行動をとることが大切だ。

3. 率先避難者たれ

他の人がためらっているとき、ぜひ率先避難者になれということ。みんなが様子を見ている状況を打ち破ることができるかどうか重要。真っ先に逃げることは恥ずかしいと思うかもしれないが、真っ先に自分が逃げることで他の人も逃げようとする。逃げる行為が人を助ける尊い行為につながることになる。

片田先生は「中学生はもう守られる立場ではない。人の命を守る立場。君たちの力で、一人も死なない地域にしたい」と常に投げかけています。災害は様々な所で、突然起こる可能性があります。その時の状況により、自分の命を守るために、最善の行動をとれるように「釜石の奇跡」の教訓を活かすことが求められます。そのためにも、日頃から避難訓練には真剣に臨むとともに、地域で災害が起こったときにどのように行動すればよいのか考えてほしいと思います。

最後に、本校の防災標語を紹介します。
「災害時 小さな判断 すべてが変わる」

杉森中学校2年 内田 隣

~2月・3月のアルバム~

【高円寺ウルトラ横断ラリー】 3/2(土) 100名以上の杉森中ボランティアが、小学生低学年グループの安全確保に大活躍でした。小学生に優しく話しかけるお兄さん、お姉さんとしての姿が微笑ましかったです。



【百人一首大会】 1年生 3/4(月) 2年生 3/7(木)

杉並かるた会から講師をお招きして、百人一首大会を1年生と2年生で実施しました。下の句が読まれるのを待たずに、さっと札をとれる生徒もいました。最後は代表生徒が講師の方と対戦しました。



【校内作品展】 3/4(月)～3/11(月) 【小中合同鑑賞会】 3/9(土)

日頃の学習活動の成果をを展示しました。1年生が校外学習で作った東京伝統工芸品もありました。9日土曜授業では、小中連携校の馬橋小、杉一小の6年生を招待し、2年生が作品の見所などを解説しました。



4月の予定

8(月) 始業式
着任式
9(火) 入学式
10(水) ①全体生活指導
給食始
杉教研(午前授業)
11(木) 生徒会入会式
耳鼻科健診

12(金) 部活動説明会
保護者会
生徒下校 13:30
15(月) 各種委員会
16(火) 身体計測
17(水) 個人写真撮影
18(木) 全国学力調査(3年)
19(金) 離任式

20(土) 学校公開 土曜授業
部活動保護者会
22(月) 生徒朝礼
24(水) 小中合同研修会(午前授業)
研究授業のクラス以外は下校 13:30
25(木) 内科検診(1年)
29(月) 昭和の日
30(火) 休日～5/6(月)まで